

平成27年7月定例教育委員会会議録

平成27年度塩尻市教育委員会7月定例教育委員会が、平成27年7月23日、午後1時15分、塩尻総合文化センター302多目的室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 8月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について

4 議 事

- 議事第1号 平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について
<期間限定の非公開>
議事第2号 市立学校職員に対する指導上の措置について<非公開>

5 その他

- その他第1号 8月及び9月定例教育委員会の開催場所について

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	小 澤 嘉 和	職務代理者	林 貞 子
委員	石 井 實	委員	小 島 佳 子
教育長	山 田 富 康		

○ 欠席委員

なし

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	岩 垂 俊 彦	こども教育部次長 (教育総務課長)	青 木 実
家庭支援課長	百 瀬 公 章	生涯学習スポーツ課長	中 野 昭 彦
平出博物館長	中 島 伸 一	市民交流センター次長 (交流支援課長)	小 松 秀 樹
子育て支援センター所長	掛 川 佳 子		

○ 事務局出席者

教育企画係長 米 窪 昌 紀 学校支援係長 太 田 文 和
保育係担当係長 田 中 博 久

1 開会

小澤委員長 こんにちは。ただいまから7月の定例教育委員会を開会いたします。大変蒸し暑く、頭も重くなる感じがしますが、よろしくをお願いします。

午前中に高校野球がありました。松本市内の強豪高校と塩尻市地元の田川高校の試合であります。いい試合をやっておりました。林さんは近所の子供さんが出ていて、テレビの前で大声援を送ったようであります。暑さの中、励む子供たちに負けずに私どもも頑張りたいと、そんなことを思います。

きょう、伊東センター長さん、青木こども課長さんは、公務のため欠席であります。御承知おきください。

では、会議に入ります。初めに、当日配付資料がありますので御確認をお願いいたします。よろしいでしょうか。資料5です。

2 前回会議録の承認について

小澤委員長 次第に従いまして2番、前回会議録の承認について、事務局からお願いします。

米窪教育企画係長 前回、第1回臨時教育委員会及び6月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いたします。

小澤委員長 そのようで、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

小澤委員長 それでは、お願いします。

3 教育長報告

小澤委員長 3番、教育長報告に入ります。教育長から総括的にお願いします。

山田教育長 どうも皆さんこんにちは。全国的に見ますと、高温や、また多雨、豪雨など不安定な夏の気象が続いております。

さて、市内の各小中学校では1学期の課程をほぼ修了し、早い学校ではあす、遅い学校でも来週28日には1学期の終業式を迎えて夏休みに入ります。子供たちにはこの時期でなくてはできない体験、経験、また学習を積んで、生きる力に一層磨きをかけてほしいと願います。また、事故のない安全で楽しい夏休みを送ってほしいと願います。

それでは、本日は、岩手県矢巾町立中学校の2年生男子生徒が自殺したとみられる事故と本市のいじめの状況について、しおじり子育て応援講演会について、及び短歌大学や詠み会に関しての3点について報告をいたします。

今月初め、またもやショッキングなニュースが飛び込んでまいりました。岩手県矢巾町立中学校の2年生男子生徒が列車にひかれて死亡したというものです。町の教育長は、この生徒がいじめを受けていた可能性が高く、自殺したものと考えられると取材に対して答えております。将来ある生徒が、またもやこのような形で自死するということは、痛恨のきわみであります。なぜ、このようなことが起きてしまったのでしょうか。今現在は調査中であり、正確な事実が全てわかっているわけではありませんので深く立ち入ることはできませんけれども、これまでの報道を通した情報の中

からは、本市においても真剣に考えてみなくてはならない視点が幾つもあるというように思います。その項目のみ挙げてみたいと思います。

1つとして、担任は当該生徒について何をもってどのように理解し、何を願ってどのように指導しようとしていたのだろうか。2つとして、担任と配慮が必要な生徒の保護者との普段の関係づくりはどのように行われていたのか。3つとして、学校体制の中で担任以外の教職員、誰一人のアンテナにも懸命に発していた当該生徒のシグナルが届かなかったのはなぜか。もし仮に届いていたとするならば、それを職員間で共有できなかったのはなぜか。4つとして、いじめに対する周囲の生徒の気づきが、なぜまた大人に伝わらなかったのか。ここでは、生徒と教職員、保護者、家族などの大人との人間関係の中で信頼関係がどこまで醸成されていたのだろうか。また、いじめについては傍観者になることは許されないということが、どのように学びの中で扱われ、生徒の中にどれだけ行動力として育っていたのか、という視点もあると思います。5つとして、いじめ防止基本方針に基づく学校体制での相談活動や支援活動が機能しにくくなっていたのはなぜか。また、どのような案件であっても、最終的に校長が判断、指導、助言することのできる体制が本当にできていたのかなどです。この1学期、本市においては深刻ないじめの報告はありませんでした。しかし、子供同士のあつれきや人権意識の乏しい言動によって不愉快な気持ちや悲しい思いになることは、どの学校でも必ず起こっているはずで、今後も、さきの視点から各学校での取り組みをもう一度振り返り、いじめによって悲しい思いをする子供を出さないよう、年度当初誓ったいじめゼロに向けた取り組みを2学期以降も進めていきたいと思っております。なお、この件については、さきの校長会や教育課程編成研究委員会などを通して学校に周知しております。

次に7月5日に行われました教育評論家松居和氏を講師としたしおじり子育て応援講演会について報告をします。演題は「子育てはかすがい」、幼児が親心を育て、社会にやさしさと絆が生まれるというものでした。この講演の趣旨は、子育てを通して幼児とかかわることで、夫婦は互いの人間性を確認し、信頼関係を高め合うのだということ。また、この信頼関係が子供に安心感を与えるとともに、親子の間に互いに育ち合う関係ができるのだということです。さらに、子育てに向き合うことによって育つ人間性と信頼関係とが社会にモラルと秩序を生み、同時に社会にやさしさと絆が生まれるということでした。このような子育ての姿は、本市における元気っ子育成プラン2の理念、子供が生まれ育つ豊かさをみんなで分かち合えるまち、とも密接につながるものだと私は思いました。これから、プラン2の事業展開の中で、多くの人が幼児とかかわる機会をとることによって、子供も親もかかわる人全て成長し、つながりとやさしさのあるまちを築いていきたいと思っております。

最後に、短歌に関する報告をいたします。今年度の短歌大学は第101講からの新たなスタートでありました。今年度予定の講座は全て既に定員いっぱいとなる盛況ぶりとなっております。第101講では、道浦母都子先生に、芸術である短歌は生活の中から詩を拾うことということの本質的な意味を教えてくださいましたし、第102講では、馬場あき子先生に、世代を超えて心から心に伝わる言葉や韻律を紡ぎ出すことのできる豊かな人間性を育むことの大切さを教えてくださいました。

また、今年度は初の企画として、詠み会 in 塩尻、塩尻で短歌を詠んでみます、を行いました。お笑い芸人のフルーツポンチ村上健志さん、エリートヤンキー橘実さんと歌人小島なおさんを招いてのトークライブでありました。内容は2人の芸人が学校、またワイン、また自由題で詠んだ短歌を、小島なおさんが歌評をしていくというものでありました。さすが芸人でありますので、トークは非常に楽しいものでありました。しかし、その内容は至ってまじめで、参加者も当日、自作の短歌を小島なおさんに歌評をしていただく機会もあって、関心を持って参加いただきました。高校生

からお年寄りまでさまざまな年代層の方々に短歌に親しんでいただく、よい機会となったと思います。以上で、私からの報告を終わりにいたします。

小澤委員長 この際であります。委員のほうから教育長の報告に対して御質問等ございますでしょうか。無ければ、この後、主な行事等の報告についてでも触れますので、そちらに譲ります。

○報告第1号 主な行事等報告について

小澤委員長 では、報告第1号、主な行事等報告についてに移ります。資料の1ページから6ページであります。6月、7月、たくさんの行事、行われたわけでありますけれども、参加された中でお感じになった点、お寄せください。お願いします。

それでは、2つお願いします。1つは、本の寺子屋、上野千鶴子さんの講演であります。ここでは7月4日になっていきますけれど、7月5日だと思います。この日、先ほど教育長からレザンホールでにぎやか講演会があって、講師のほうから幼児教育の重要さが話されたと、こういう報告いただきました。上野女史も冒頭に同様なお話をされました。これからは幼児教育がますます重要になると、こういうお話です。その具体としては言語表現、言葉ですね、言葉でのコミュニケーションはもちろんのこと、それ以上に言語表現以外の能力が、この幼少期に培われるから大事だと。例えば、他人との関係づくり、その場の雰囲気を感じとる力、うなずけますね。身体調整能力、生活リズムをつくる能力等々を具体例として挙げてくれました。これを培うには幼少期がいいんだと、こういうお話です。先ほどの教育長のお話と通ずるものがあるなあと思いました。昔から鉄は熱いうちに打て、三つ子の魂百までも、こういう言葉があるわけでありますけれども、先人が残した言葉、今も通じます。混迷を深めつつある家庭教育の今、これを確かなものにしないではいけないなあと思うと同時に、元気っ子応援プラン2は、これから進化発展の実践に移していくわけでありますけれども、塩尻市が幼児教育にかける思い、これは時宜にかなうものである。そんな応援の言葉を感じた講演の場でありました。

もう1つは、市民音楽祭であります。管弦楽とコーラスの部を聞かせてもらいました。素人でありますので音楽の質についてはよくわかりません。参加された方、お目当ての発表に合わせての入退場を繰り返しておりました。大変大勢の参加者でありました。この大勢の参加者から見るに、市民に期待され、市民に位置づいて生きているイベント、これをうかがい知ることができました。特に7月19日は梅雨明け宣言があったわけでありますけれども、気温は低めでありました。冷房のことです。大ホールの上のほうは、天井からプープーと冷気がおりてまいります。あの近くにいた方々、寒いなあ、何とかならんかなあ、なんて声を寄せておりました。冷房装置の関係上、会場の上段は寒く、下は暑い、これをうまく循環させるには大変な苦心があるだろうと思います。もしどこかで何か改良の余地があったならば、市民の声を生かしていただければありがたいと、そんな思いであります。以上2点、感じました。

主な行事よろしいでしょうか。それでは、次に移ります。

○報告第2号 8月の行事予定等について

小澤委員長 報告第2号、8月の行事予定であります。資料の7ページ。全体でお集まりいただくのは、8月20日になっておりますけれども、ここは未定でありまして、この8月の定例教育委員会は、その他第1号で扱う予定であります。行事歴をごらんいただいております。お感じになった点、お寄せください。

1点お聞きしてよろしいでしょうか。8月12日、平和祈念のつどいがあります。例年は保健センター、市民交流センターでやっておりましたが、今年はレザンホールということによろし

いかどうか、確認であります。

青木こども教育部次長（教育総務課長） 本年が終戦から70年の年に当たるということで、本年度につきましては、レザンホールで開催と聞いております。

小澤委員長 ありがとうございました。詳しいことが分かりましたら後ほど、お願いします。

〔「はい」の声あり〕

小澤委員長 8月の行事予定終わります。

○報告第3号 後援・共催について

小澤委員長 報告第3号、後援・共催についてであります。8ページから11ページまで、たくさんあります。御質問等、お気づきの点、よろしく申し上げます。

確認させてもらいます。26番です。塩尻市社会福祉大会ですが、今年は9月1日普通日です。例年だと日曜日にやっておりました。そこで、何かの関係で普通日にもってきたのか、わかったら教えていただきたい。後援・共催よろしいでしょうか。

ないようですから議事に入ります。

4 議 事

○議事第1号 平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について〈期間限定の非公開〉

小澤委員長 議事第1号、平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択についてであります。

この議案は8月31日までの期間限定の非公開案件であります。また議事第2号は、個人情報扱うものです。1号、2号とも非公開としたいわけでありませうけれども、よろしいでしょうか。

それでは、非公開といたします。傍聴者はおりませんので、このまま続けたいと思います。

議事第1号、平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について、事務局から説明をお願いいたします。

青木こども教育部次長（教育総務課長） それでは、議事第1号をよろしく願いいたします。資料No. 4-1から厚い4-9までございます。事前に定例教育委員会の資料とは別便で、教育委員さん方には送付させていただいております。

簡単に説明をさせていただきますが、まず資料No. 4-1でございますけれども、中学校教科用図書の採択についてということで、平成28年度、来年度からですが、4年間使用する中学校用の教科用図書につきまして、先般開催されました松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会におきまして調査研究を行い選定した結果が、そちらの下に示されております。その協議会の結果に基づきまして、本教育委員会で選定の採択をいただくという内容でございます。そちらにありますとおり、選定された教科用図書につきましては、種目は、国語から英語までございます。右側が発行者で、国語の光村図書出版から英語の東京書籍までということになっております。

おめぐりいただきまして、資料No. 4-2、こちらが松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会、会長が本市の小澤委員長でございますけれども、選定をした内容の通知でございます。協議会につきましては、県の教育委員会のほうで同一の教科書を使う地域として設定をされておまして、塩尻市が入る地区につきましてはこの地区ということになります。協議会は、それぞれの構成する市町村の教育委員会が協議をして規約を定めて設置をしております。本年度、塩尻市が当番市ということで、事務局を担当しながら選定してまいりました。5月26日から7月17日までの約2カ月間でありませうけれども、協議会で個々の教科につきまして、どの教科書がいいかという調査研究をしてまいりました。協議会の中に調査研究委員会というものを置いております。教科ごとに校長

先生を委員長、副委員長を教頭先生ということで、地区内の先生方6人から12人、合計で72人の先生方に委員になっていただきまして、この2か月間の間に5回委員会を開催して、それぞれの教科について選定いただいた内容でございます。協議会では、2番にありますとおり7月17日の金曜日に、委員会からの報告を受けてこの内容での選定を決定いたしました。

内容につきましては、それぞれ専門の先生方が個別の教科書それぞれの中身を全て詳細に読み込んで精査をして、評価をして選定してきております。

選定結果につきましては、結果的には4年前、平成23年のときに採択した教科書と全て同じ発行者のものとなっております、これに基づいて選定地区内の市町村教育委員会で採択をしていくというものでございますので、よろしくお願いたします。中身については、事前に送付させていただいておりますので、細かい説明は省略をさせていただきますが、よろしくお願いたします。以上です。

小澤委員長 ありがとうございます。事前に資料等送付されております。目を通していただいておりますものとして受けとめさせていただきます。御質問、御意見等ございますでしょうか。

石井委員 この松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会の委員長は、小澤委員長先生がされたわけですね。

小澤委員長 そうです。

石井委員 そんなら、私どもがいろいろ言うことはないと思いますので、賛成で、賛同いたします。

小澤委員長 調査委員の先生方は非常に熱心で、資料の読み込みも非常に緻密で、選定委員の私たちも納得する、また自信を持って採択できる場でありました。なお、事務局は、先ほどの説明のとおり塩尻市でやったわけでありまして、青木課長さん、太田係長さん、それから丸山さん、この3人で組んでやってくれたわけでありまして、非常に緻密でありました。事前の準備から用意周到でありまして、採択時は非常にスムーズでありました。委員の方々から、近年になく充実した密度の濃い検討、採択になったと、こんな感想をいただきました。

石井委員 変更されるところは、委員長が聞いて、あっ、なるほどなあと思うことですよ。

小澤委員長 納得でありました。

石井委員 はい、わかりました。

小澤委員長 では、お諮りいたします。議事第1号は原案のとおり採択することに御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

小澤委員長 ありがとうございます。それでは、異議なしを認め、原案のとおり採択されました。事務局は松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会に報告書の提出をお願いいたします。

なお、議事録につきましては9月1日以降に公開をするということでありますので、それまでは、委員の皆さん、非公開ということを御承知ください。お願いします。

○議事第2号 市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉

<非公開部分削除>

5 その他

○その他第1号 8月及び9月定例教育委員会の開催場所について

小澤委員長 では、その他第1号、8月及び9月定例教育委員会の開催場所について、事務局から御説明をお願いいたします。

青木こども教育部次長（教育総務課長） それでは、その他第1号をお願いいたします。資料No. 6、12ページです。8月及び9月定例教育委員会の開催場所についてということで、これまで定例教育委員会につきましては、総合文化センターのこの会議室をメインで開催してございましたけれども、所管をする施設をより御理解いただきたいということ、また、教育委員さん方からも御要望等をいただきましたので、8月及び9月につきまして、次の2番に書いてあります場所で開催をしたいというものでございます。8月については、20日の木曜日に、市民交流センター（えんぱーく）で開催したいというものです。それから9月につきましては、24日の木曜日を予定しておりますが、平出博物館で開催したいというものでございますので、そんな形をお願いしたいと思っております。以上です。

小澤委員長 いかがでしょうか。お願いします。

石井委員 施設を回っていくっていいことだと思うんですけども、私どもはただそこへ行きさえすればいいんですけども、事務局サイドとしては大変じゃないでしょうか。セッティングをしたり、また資料を持っていったりということでもって。

青木こども教育部次長（教育総務課長） 毎回ということではございませんし、事務局職員も他の所管する施設を見るということも大事ではないかと思えます。また、市民交流センターの職員については、毎月こちらに出てきていただいているという状況もございますので、たまにはこちらから伺うのも良いのではという、そんなことではございます。

石井委員 それならば、私は賛成です。

小澤委員長 年12回ありますが、8月と9月は現地開催をすると、こういう理解でいいですか。

青木こども教育部次長（教育総務課長） とりあえず本年度の8月、9月をこういう形で開催させていただきたいというものですので、来年度ですとか、次回以降については改めて御相談させていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

石井委員 じゃあ、今年は8月、9月。来年度は、やっぱり2つになるということですか。それはまた、ケース・バイ・ケースで決める。

青木こども教育部次長（教育総務課長） はい。ケース・バイ・ケースで。今回開催をしてみて、また御意見を伺いながら検討していきたいと思えます。

小澤委員長 小島さんどうですか。

小島委員 石井さんと同じ意見です。

小澤委員長 林さんは。

林委員 はい。

小澤委員長 そのようにお願いいたします。なお、会議前に施設見学と書いてありますけれども、これは自由に回って歩く、あるいは案内していただける、そこら辺、お願いします。

青木こども教育部次長（教育総務課長） 本日これで御承認いただければ、詳細日程等については、再度御通知させていただきます。全く自由という形ではなくて、説明などもさせていただければと考えておりますので、また御案内をさせていただきます。

小澤委員長 よろしくをお願いします。御意見、いいですか。

そのほか、事務局から何かございますでしょうか。

岩垂こども教育部長 お手元に配付させていただきました水色のチラシでございます。女と男21ワーキング・グループ主催によります身近なデートDV・DVから考えるということで、8月22日土曜日でございますが、三村春美さんが講師としてやっていただけますので、委員さんにおかれましても出席のほう、よろしくをお願いいたします。以上です。

小澤委員長 この日の午前中に水泳大会あります。

岩垂こども教育部長 ええ、午後ですから。ハードですが。

小澤委員長 引き続きですね。

石井委員 その他のその他ですけれども、私のほうからちょっと二、三お聞きしたいことがあります。お願いしたいと思います。まず、体育館のアンケートが始まりましたけれども、始まってから1週間たつか、たたないんですけれども、今のところの回収率はどのくらい行っているのでしょうかということと、それから。1つずつ聞きますか。アンケートの回収率については、出足どうでしょうか。

中野生涯学習スポーツ課長 正確な数字は、控えさせていただきますけれども、2万6,500世帯に出してありまして、大体1日当たり1,000から1,500通が来ておりまして、きょうも大分来ておりましたので、多分きょうの時点で20%くらいの段階ではないかというふうに捉えております。今週、明日になりますけれども、内容とまではいきませんが、回収率がどのくらいかということは、出していききたいというふうに思っています。

石井委員 ありがとうございます。また、スポーツ関係ですけれども、塩尻市営球場のそばに引っ越してきた人ですけれども、使用している方も悪いことはあるかと思っておりますけれども、非常に苦情が多く、市営球場があることがわかりながら来ていると思っておりますが、それは今、生活権のほうの上です。何とも言えませんが、たまたまこの前、私が関係していた大会で、非常に暑かったもので、上半身裸になって場外にいたとか、それから道路でたまたま素振りをしていたというようなことで苦情をいただきました。それは悪いことなんですけれども、そのうちに今度は警察が来まして、私どももこんなこと言いたくないけれども、通報があればしょうがないから来るんだっていうようなことだったんですけれども、そんな細かいことまで、いろいろ言われたのでは市営球場をどういう具合に使っているのか。今、全然アップをするところもないし、というような状態で、非常に使用をするほうも困難を来しているということだけは、ちょっと担当のほうで頭へ入れたいと思います。使用する方も注意をしなきゃいけないと思っておりますが、あれだけ、細かくいろいろ言われたのでは、どういうものかなあなんていうふうにちょっと考えていますので、お願いしておきます。

それから、通学路の安全ということで、この間、洗馬の太田で石垣へ突き当たって、そのままお亡くなりになってしまったという事故がありまして、この間、関係各位が30人ぐらいでその現場を見ていただいたと思っておりますけれども、通学路として非常にカーブもしていますし、非常に危ないところだと思って、危ないから余計みんな気をつけるのかなあなんて思っていました。そんな死亡事故があつて市の職員が現場を見て回ったというようなことがありましたけれども、その後の対策については、何か具体的に話がありましたか。別にありませんか。

太田学校支援係長 先日の死亡事故に関して交通係のほうですね、音頭をとって関係者集めてくれたわけで、私も一応通学路でもあつたもんですから同席をさせていただいたところです。実際に、あそこが県道ということで、道路管理者が松本建設事務所なんですけれども、そこが主に対応策という部分をやってくれるような形になったと思うんですが、あそこで、その場で出された意見の中でですね、松本建設事務所に対応をまず検討させてもらいたいという部分にあつたものの中では、何かそのグリーンベルトの塗られている部分もあつたりですとか、それから、外側線等の路面の表示なんかもですね、少し薄くなってきているような部分もあるというところは、もう一度見やすくきれいにしたいというところであるとか、あるいはあと、あそこのちょうどカーブのところのお宅がもう空き家になっているっていうような部分で、生け垣が大分伸びてきていると。通行する子供たちの支障にもなるということで、こちらは区長さんのほうからですね、地元において伐採を何とかしていきたいという御意見もいただきました。当面はすぐできるっていうところの

だったと思うんですが。あとはそれぞれまた警察であるとか、地元のところでは暗がりがあるところ伐採をできるかというようなところも、今後検討していかなきゃいけないかなというところで話はまとまったと言いますか、とまってるような状態でございますので。今回、あそここのちょうど坂道の上のところ、今年洗馬小学校の子供が事故に遭っているというところもあったもんですから、その辺の話も私のほうから当日出させたもらう中で、事故もあったので坂道の上のほうまでも具体的にちょっと松本建設事務所のほうでも検討してもらえないかということは伝えてきてありますし、今年ちょうどあそこ通学路の点検箇所にもなっているもんですから、再度また松本建設事務所にも足を運んでもらいますので、そこでもう一度そういうものがあれば検討しながらと思っているところでございます。以上です。

石井委員 松本建設事務所とか地方事務所とかって言いますけれども、それを動かすのは市の力なんですよ。黙ってただけでは、誰も何もしないと思うし、区でまた騒いで、でもやっぱり市を通して県へ行かなきゃならない。だからそういう意味で、やっぱり市のほうでそういう働きをしてもらいたいなあと、そういう具合に思いますので、よろしくひとつお願いしたいと思います。もうあそこ、もと医者の家なので、大きな石で二段重ねの垣根をつくったわけですけども、もう無人になっているから、話をして、あの石垣をとめちゃってもいいんじゃないかなあなんていうふうに私は思っているんですけども、区で動くか、区で動いてもやっぱり市で動いてもらう。それで、そうじゃなきゃ、松本建設事務所は動きませんので、よろしくひとつお願いしたいと思います。そんなことをお願いします。

小澤委員長 よろしくをお願いします。

太田学校支援係長 じゃまた、私どももそうですし、建設課等もありますので、連携して対処していきたいと思います。

石井委員 本当に凍った場合には、大変なところなので、冬にならないうちにお願いいたします。

それからもう1点、いいですか。先ほど教育長先生のお話の中でありましたけれども岩手のいじめの事故、これももうないかと思えば、あちこちでもって忘れたところにやってくるというようなことで、先生も努力をされていて、校長先生を集めて校長会もやっているというようなことで、徹底をさせていただいていると思いますが、もっと何て言うか、具体的にきちんとした方法がないかなあというようなことを思いまして、私ども教育委員としても、この後の協議会でそういう事故の判例とかいろいろなものを聞きますけれども、最終的に具体的にじゃあこうすればいいんじゃないかという案はなかなか出てこない。それで、じゃあしょうがないわね、家庭が悪いわねだけで終わってしまっているということは、それでいいのかなど、そんな気がしてます。じゃあ、そのときに幾ら話し合っても教育委員会は何もしないんじゃないかと、それと同じではないかというふうに思って、先ほどの話も聞いたんですけども。やはり校長会なり、それは先生方の指導は校長先生がやってもらわなきゃいけないと思うんですけども、私どももやっぱり家庭のせいだとか、親のせいだと言うんじゃないかでもうちょっと具体的に、太田補佐が一生懸命苦労していると思いますし、百瀬課長も一生懸命苦労していると思いますけれども、やはりもうちょっと家庭の中へ突っ込んだ話し合いができないものかなあというふうに感じましたので、これはちょっと教育長先生の話聞いてた私の感じですので、あれで果たして私たちの役目はいいかなあなんていうふうに思っていましたので、一言、済みませんがお願いします。

小澤委員長 ありがとうございます。教育委員としてもじくじたる思いがあることは、私自身もそうです。それで、1つ言いわけみたいなことになるかもしれませんが、毎年、主幹指導主事の帯同があります。県でも当然いじめについては、十分に情報共有する対策をとれと、こういう指示いたします。ここへ、県に加えて、市教育長の話、伝達事項があります。教育長が行けないときは私が代わ

って出て行きます。ここで、全員の先生方とにかく何でも話してください、1人で抱きかかえないでくださいと伝えております。不十分かも知れませんが、精一杯語らしてもらっています。なお、今年から訪問形態がA、Bに分れました。Aは全員に話をする機会がある。Bは機会がないんです。ここら辺のところを松本あるいは安曇と、広域でどういう形態がいいのかを話し合っていかなければいけないなあってことは思っております。

石井委員 もっと真剣に取り組んでもらいたいなあとというふうに、私も思っています。

小澤委員長 1点、今さっきの体育館のアンケートですけれども、地域でも相当に高まっています。今は盛り上がっているんですけれども、盛り上がっているときに投函する人はそうはいないことも予想されます。日常の忙しさにかまけて忘れちゃうんですよね。それで、7月の末から8月5日まで、そこら近辺でマスコミに活躍してもらうか、あるいは市のほうで何かやる。こんなお考えは。

中野生涯学習スポーツ課長 その辺のところはですね、8月1日号の広報の中で、回答をお願いしますという記事を載せさせていただきます。市長さんのほうも定例の記者会見の中で、その辺のところをお話しをいただけるというお話を前にしておりますので、そんな対応をさせていただきますし、あとはマスコミ等の関係も、もしその辺の回収率等をですね、お話しできるようでしたら、その辺もお話をさせていただいて、回答を出してもらおうというような働きかけをしていきたいというふうに思っています。

小澤委員長 以上で全てです。よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり 〔「はい」の声あり〕

小澤委員長 ありがとうございました。

6 閉会

小澤委員長 本日予定されている案件は終了いたしました。以上をもちまして7月の定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後2時9分に閉会する。

以上